

押入れ・ふすま・障子

押入れは 掃除機をかけてから水拭きし、しっかり乾燥すること。

掃除機をかけてから水拭きしないと、木目にホコリが入り込んで、黒っぽくなるので 要注意。

また、しっかり乾燥させないと、湿気が残り、カビがはえやすくなるので注意しましょう。

ふすまの取っ手回りの汚れ防止には、はっ水剤をスプレーしましょう。

障子の「さん」にたまったホコリは、からぶきか、ハタキで取る。

★押入れ

押入れの中の荷物を全部出し、まず掃除機をかける。ホコリがたまりやすい隅の部分もしっかりと。隙間用ノズルを使うと便利。

かたく絞った雑巾で水拭きをしましょう。そのまましばらく放置し、よく乾かすこと。湿気がこのと カビがはえやすくなるので注意しましょう。

★ふすまの取っ手回り

ふすまの取っ手回りは、手あかがつきやすく、素材が紙なのでそうじしにくい場所です。ならば、汚れる前に はっ水剤をスプレーしておくのがおすすめ。

ホコリや汚れがあれば、落としてから、取っ手の回りを中心に吹きつけます。

ただし、吹きつけすぎるとシミになる恐れがあるので、使用量は控えめに。

こうしておけば、汚れがつきにくくなるので、ふだんのふすま掃除は ハタキがけと乾いた布で取っ手回りをふくだけとなります。

新しいふすまならば、全体にスプレーしてしまうのも手です。

なお、はっ水剤は吸い込むと有害なので、できれば ふすまを外に出してスプレーしましょう。室内でやる場合は、窓を開けて換気をよくし、また、シミがつかないように、柱は新聞紙などでカバーしておきます。

★障子

障子の「さん」にたまったホコリは、からぶきか、ハタキで取る

ホコリがたまりやすい障子の「さん」は、つい水拭きをしたくなりがちです。しかし、うっかり水拭きをすると、たまったホコリが「さん」に黒くしみ込み、その汚れでさらに障子に黄色いシミを残してしまうことにもなります。

したがって、**拭くときは「からぶき」が鉄則です。**

また、**化繊のハタキをかけるのもオススメの掃除法。**

障子紙にも 当たりがやわらかく、静電気でホコリを簡単にかからめ取ることができます。まめにパタパタかけ、ホコリをためないようにしましょう。

障子の黄ばみは漂白剤を使って応急処置

障子の黄ばみが気になるときは、コップ1杯の水に、化学のり小さじ1、酸素系液体漂白剤小さじ2を混ぜ合わせ、霧吹きで障子に吹き付ければ、新品同様に真っ白になります。

ただし、紙が弱くなるので、この方法はあくまでも応急手当てと思ってください。次に黄ばんできたときにはきちんと張替えをしましょう。

なお、漂白剤は金属に影響をおよぼすので、霧吹きは金属を使ってないタイプを選ぶようにしてください。